

教育環境浄化都市宣言

戦後、廃墟の中から30有余年、日本は平和国家として自由でよりよい文化的生活をめざし勤労に励み、今や経済大国として成長し世界中から注目されている。

しかし、経済成長とは裏腹に色々な問題が発生し教育的環境を汚染している。

1. 鯖江市に販売元をかかえた青少年に有害なるビニール本等の俗悪書の氾濫
1. 射幸心をあおるゲーム及びゲーム場の増加
1. 痴漢の出没、わいせつ犯の増加
1. 宗教心、道義心の低下による犯罪の増加
1. 画一教育と教育現場のみに依存しすぎて地域社会の協力がないための最近激増している校内暴力に対する一般社会の無関心さ
1. 交通事故の増加
1. 自然環境からの制約

など、多種多様な問題が激増している。これ等の問題は社会問題として新聞・マスコミ等でも報じられ、それを阻止するための世論の喚起はなされているものの根絶へは程遠い。

また、各種の官公庁或は社会教育団体も全力をあげ、減少根絶を図っているが、その活動はいきの長い活動としての成果をあげ得ないのが現実である。

今こそこれら諸悪の問題については市民一丸となって次代を担う青少年を我々が守るという意識を高揚し強く推進するため、ここに教育環境浄化都市を宣言する。

以上、決議する。

昭和56年3月24日

鯖江市議会